

ひきこもりから見る青少年問題

不登校・ひきこもり・ニート・家族問題支援
NPO法人地球家族エコロジー協会
理事長 中光雅紀



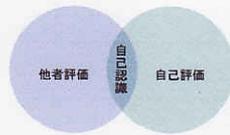
自立を妨げているもの

- 他者との関係をつくれぬ
 - 協調していく
 - 自己の要求を実現する
- 社会性の未成熟
 - 自己表現
 - 他者理解
- 自立以前の“自律”の問題
 - 自己コントロールが効かない



自己表現

- 自己認識
- 誤った思い込み
 - 自己否定感情
 - 罪悪感
 - 恥辱感
- “自分らしさ”の無自覚
 - 欲求が分からない
 - 感情が出せない



承認への渴望～①

- 期待と信頼
- あるがままの容認
 - 条件付きの愛情
- 「いい子」の嘆き
- 他者評価への過敏さ
 - 「キモチ悪がられている」「笑われている」
 - 「必要とされていない」



承認への渴望～②

- 他者評価への依存
 - 対立を過度に避ける ⇒ 柔順に見える
 - 主体性の欠如
- 基本的信頼感～生きる姿勢の基礎
 - 自分が愛されているか
 - 周囲は信頼できるか
- アタッチメントとアイデンティティ



自己治療と治療的行動化

- 特定の人間関係への執着
 - 共依存
 - 愛によるコントロールと世話を受けることでのコントロール
 - 歪められたアイデンティティ
- 家族バランスの揺り戻し
 - モビールの法則
 - 安全・安定・安心を欠いた家庭



子供たちの背景にあるもの

- 少子化
 - 過保護・過干渉
 - 兄弟間の関わりの減少
- 核家族化
 - 祖父母からの文化の未継承
- 近隣との没交渉
- 価値観の多様化(情報生産量の増加)
 - コミュニケーションの複雑化
 - 選択肢の増加

大人たちができること

- 小人は大人の鏡
- 言葉から学ばず、行動を真似る
- 生きざまを見せる
 - 生きがい
 - 自己責任
 - 愚痴を言わない
 - 公益世務
- 自尊心・自己信頼感を育てる
- 敬愛・惻隠・慎独

家庭は習慣の学校

教うるよりも習いという諺あり。
けだし習慣の力は教授の力よりも強大なるものなりとの趣意ならん。子生まれて家にあり。その日夜見習う所のものは、父母の行状と一般の家風よりほかならず。一家の父母は心を以て成るものなれば、子供の習慣は全く父母の一心に依頼するものというて可なり。故に一家は**習慣の学校**なり、父母は**習慣の教師**なり。而してこの習慣の学校は、教授の学校よりも更に有力にして、実行を奏すること極めて切実なるものなり
〔福沢諭吉家族論集〕